

厳しい寒さの続く季節、各地から伝えられる大雪の被害や、十分に暖をとることができない被災地の方々の様子に、例年以上に、春の訪れが待ち遠しく感じる今日この頃ですが、この寒い日々にあっても、元気いっぱい外を走り回って遊ぶ子どもたちの楽しそうな声に、心が和みます。今、日本で暮らす私たちに巡ってきている「冬」は、困難の多い厳しい季節ではありますが、「冬来たりなば春遠からじ」そんな言葉を思い、目覚める時を待つて休んでいる木々の芽や花のつぼみのエネルギーを感じつつ、「ひとりの小さな手 通信第5号」をお届けします。

間もなく東日本大震災から1年、3月11日がやってきます。地震、津波、原発事故…あまりにも多くのかげがえのない命と大切なものが失われたあの日から、大きな悲しみや大変な状況を抱えて日々を歩んでいらっしやる被災地の方々を思わない日はありません。私たちもそれぞれの思いを持って、さまざまなことを考え、行動し、そして祈りを捧げ続けた1年でありました。

漁業など産業の復興や自治体再生のためにたくましく前進している方々、また、今までとは違う環境の中で人とのつながりを大切に明るく暮らしている方々の姿には、心打たれ、私たちが励まされます。なかなか先の見えない不安な状況の中、元気を出して行動していくのは、本当に大変なことだと思います。私たちにできることは小さいですが、被災地の方々に元気のもとを届けられるよう、心を込めて支援を続けていきたいと思います。

この1年間も、幼稚園・教会学校の保護者の方々、幼稚園・教会につながる方々、たくさんの方にご協力を頂き、さまざまな形で支援活動ができましたこと、心より感謝申し上げます。

今後も引き続き、よろしくお願いいたします。

(根岸)

「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど

それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる

ひとりの小さな目 何も見えないけど

それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える

ひとりの小さな声 何も言えないけど

それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える

ひとりで歩く道 遠くてつらいけど

それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる

ひとりの人間は とても弱いけど

それでもみんなが集まれば強くなれる強くなれる

◇陸前高田ほっとカフェへの支援を開始

今年に入って間もなく、野毛山幼稚園のランチ職員の方の友人で、津波の被害の大きかった陸前高田市の教育委員会に所属するカウンセラーの佐藤文子（あやこ）さんをご紹介いただきました。

佐藤さんは、昨年まで東京の大学の教員をされていましたが、アメリカ9・11テロの被害者の方々や戦争・災害で全てを失った難民の人たちと実際に接していらした経験も踏まえ、今回の震災で被災された方々の力になれたら…という思いで、陸前高田に行かれたとのことでした。

2月から、仮設住宅の集会所などを回り、被災地の皆さんがお茶を飲みながら、心の内を話せる場として「ほっとカフェ」を開いていらっしゃるとのこと、私たちも、お茶やお菓子の支援をさせていただくことになりました。

お菓子は、ランチ職員の方や教会の有志で手作りのものを作ったりもしながら、継続的・定期的に支援をしていきたいと思っています。

～陸前高田の方々への「ほっとカフェ」の案内文書より～

あれからまもなく一年がたとうとしています。

きっとそれぞれに大変な思いをしながら、やりきれない気持ちを抱えながら、過ごしてこられたことと思います。

どんな状況にあっても、高田の未来を担う子どもたちをしっかりと育てていくこと。それが私たち大人に課せられた最大の使命です。しかし、それにはまず、子どもたちを支える大人が元気であることが大事だと考えます。気持ちが和む、周りとのつながりが感じられる、自分の思いを出せる、そんな時間が、今、大人のみなさんにも必要なのではないでしょうか。

温かいお茶やコーヒーを飲みながら、日頃感じていること、悩んでいることなどを出し合ってみませんか。そして、心と体を「ほっと」させてみませんか。そんな思いでこの会を企画しました。

くつろいだ雰囲気の中で、専門のカウンセラーが心のケアに関するお話しをしたり、みなさんのお話を聞きながらちょっとしたアドバイスをしてくれます。どうぞ気軽な気持ちでお越しください。



送っていただいた写真
左の写真は 仮設住宅

下の写真は… まだまだこのような状態のところがあるそうです。



◇支援物資の発送、支援金の送付

- 12/19 (金) 仙台被災地支援グループへ
手作りパウンドケーキ3本
- 1/16 (月) 仙台被災地支援グループへ
段ボール1箱
ブランケット、綿毛布
食器 (お皿、カップ、お盆など)
食料品 (お茶、お菓子、缶詰など)
男性用 下着、靴下
タオル、ボディソープ、洗剤など
- 1/17 (火) 原町聖愛保育園へ
手作りケーキ
- 1/27 (金) 仙台被災地支援グループへ
動物保護支援金として15,000円
- 1/27 (金) 陸前高田「ほっとカフェ」へ
手作りパウンドケーキ10本
紙ナフキン、紙コップ、テーブルクロス、手作りコースター
- 1/30 (月) 陸前高田「ほっとカフェ」へ
CD、缶クッキー
- 2/13 (月) 原町聖愛保育園と陸前高田「ほっとカフェ」それぞれへ
手作りチョコレート
手作りパウンドケーキ



教会学校アンデレクラスでは、バレンタインのチョコレート作りをしました。

できあがったチョコレート、かわいい箱に入れて送りました。



- 2/17 (金) 仙台被災地支援グループへ
段ボール1箱
カーテン、ブランケット、タオル
紳士用・婦人用 セーターなど衣類
洗剤、入浴剤など日用品
食器 (大皿、マグカップなど)
食料品 (コーヒー、紅茶、お菓子、レトルト食品など)

◇今後の予定

○3/11 (日) 東日本大震災復興支援
 チャリティーコンサート Legare れがーれ
 ～心をつなぐ 音をつなぐ 想いをつなぐ～
 13:00開場
 13:30開演

場所 野毛山キリストの教会
 入場料 500円 (座席の必要なお子さんから入場料が必要です)

出演 ピアノ 香川 真澄
 井上 絵美
 ゲスト フルト&ピッコ 北迫 真弥
 サックス 森本やよい

東日本大震災から、ちょうど1年を迎えるこの日、豊かな音楽に満ちる教会に集い、共に祈り、今なお苦難の中にある被災地の方々に、共に思いを寄せることができれば幸いです。

前売り券は、幼稚園事務室まで

野毛山キリストの教会
 教会学校のみな様

教会学校のみなさんお元気ですか？ いつも私たちのことを覚えてくださり感謝申し上げます。今日は美味しい、「バレンタインチョコレート」を送ってくださってありがとうございました。子どもも大人も大喜びで、包みを開けて思わず「わあ」と声が出てしまいました。午後のおやつ時間にみんなで、みなさんのことを思いだしながらいただきました。保育園では3・4日前よりインフルエンザが流行って、今日は園児56名のうち13名もの子どもが休みました。友だちが少なくて少しさみしかったようです。感謝。



気になるきれいな箱も、首を長くして覗き込んでいます。

2012年2月14日
 原町聖愛保育園 園長 遠藤美保子
 子ども一同



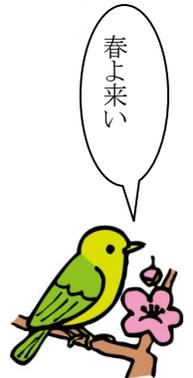
バレンタインチョコのことを知っているおしゃまな女の子たち。なんだかうれいそうに、話をしていました。



2月4日に保育園の庭に、放射線の空間線量を測る、「放射能モニタリングポスト」が設置されました。太陽光発電によって、常にリアルタイムの線量が表示されています。計測される数値は、今は、0.146μSv/hから0.179μSv/hの間の数字が表示されます。その日の線量数字を見たり、風の強さを見たりしながら、30分以内の園庭遊びをしています。



僕これ！と一番に満んだ、だいじ。



春よ来い

発行 2012年2月24日
 小さな手プロジェクト
 事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地
 野毛山キリストの教会
 野毛山幼稚園

根岸ひろみ 内田 幸子 上條 慎子